

小規模インフラ環境のクラウド化に最適な  
VMware vSphere ベースのIaaS

DIS | vmware®

# DX仮想クラウド基盤



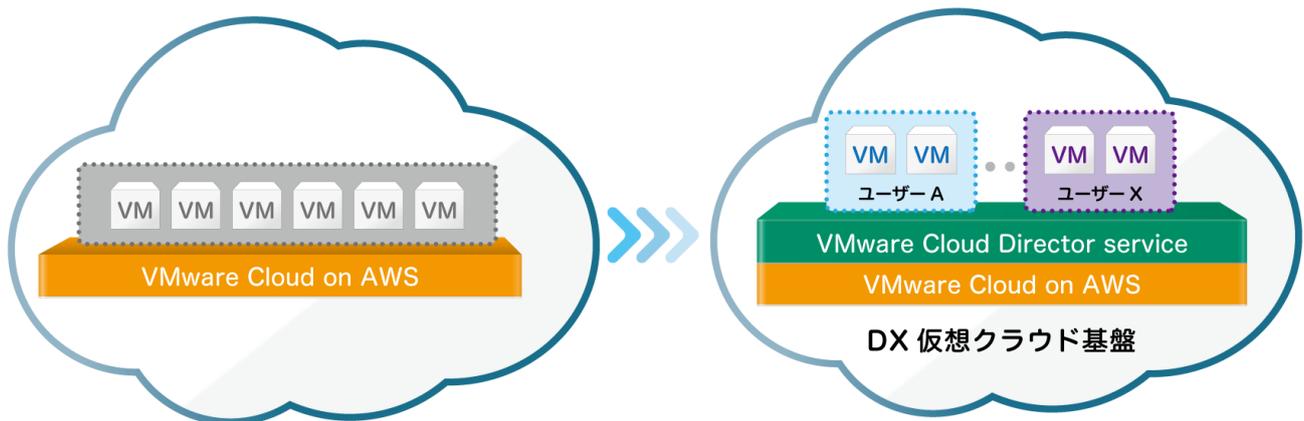
「DX仮想クラウド基盤」は中小規模インフラ環境のクラウド化に最適なVMware vSphere ベースのIaaSです。「VMware Cloud on AWS」は、VMwareがAmazon Web Services (aws) のベアメタルサーバ上に展開するホスト専有型の環境ですが、本サービスでは「VMware Cloud Director service」を活用することでこの環境を複数ユーザーに向けて提供します。もちろん、テナント間の通信を行うことはできませんので、利用ユーザーは小規模でも独立した環境として利用することが可能になります。

iDATEN(韋駄天) 販売支援サイト

<https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/tss/dx-cloud/index.html>

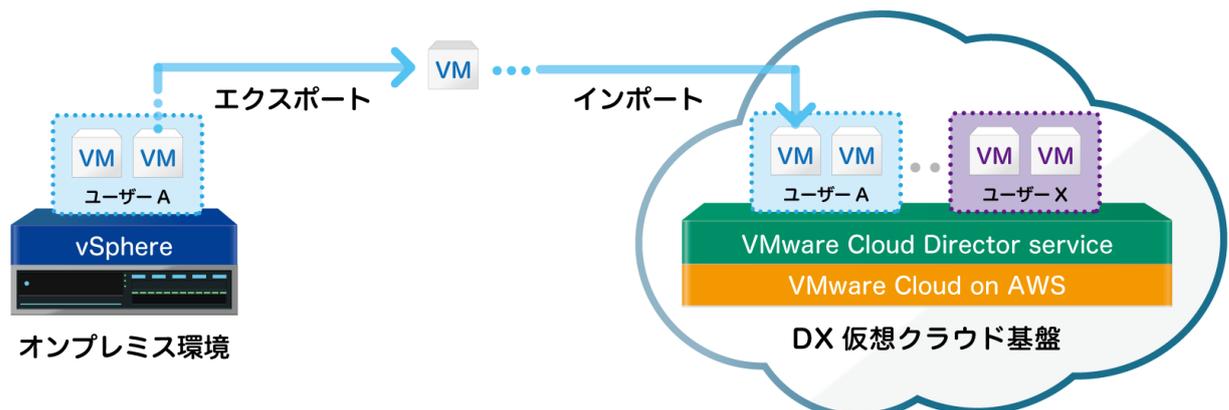
## Point 1 中小規模に最適化されたテナント

「DX仮想クラウド基盤」は、「VMware Cloud on AWS」を「VMware Cloud Director service」でマルチテナント化します。そのため、利用規模が10VM以下といった中小規模な環境でも、「VMware Cloud on AWS」を利用可能です。



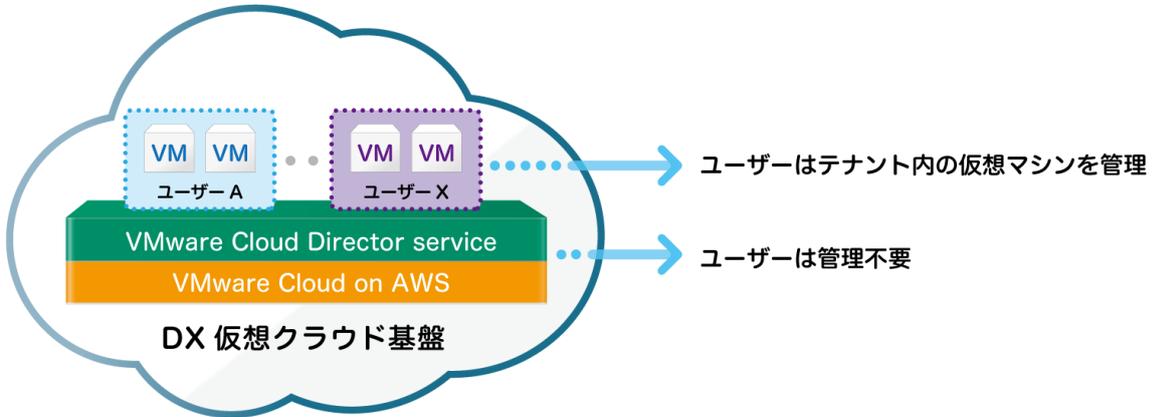
## Point 2 既存環境からの移行

VMwareのvSphere環境を利用するユーザーは、既存のvSphere環境から仮想マシンをエクスポートし、「DX仮想クラウド基盤」へインポートすることで、簡単に仮想マシンの移行が可能です。



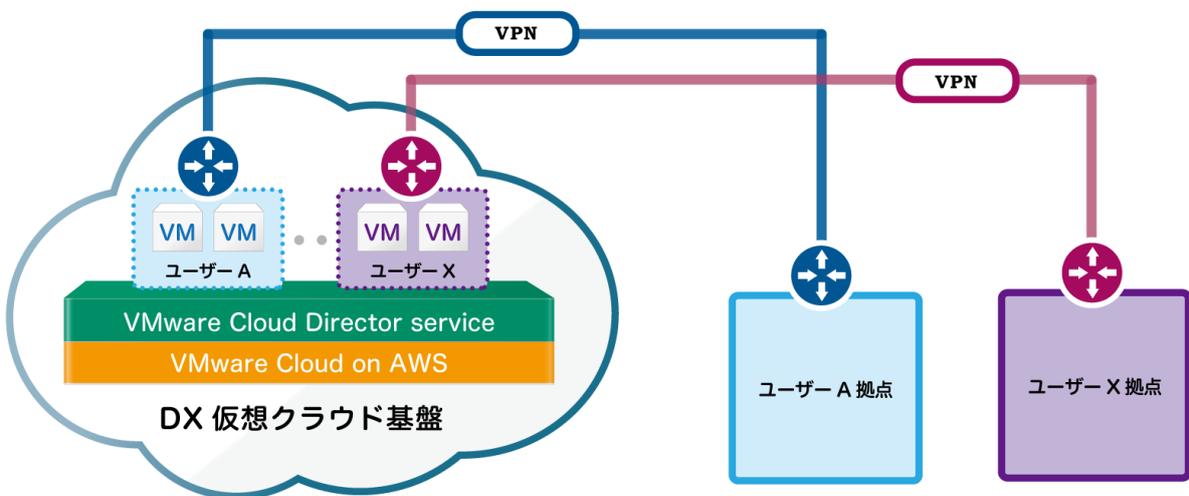
### Point 3 仮想マシンの管理に集中

「DX仮想クラウド基盤」を提供するハードウェア、vSphere環境はクラウド上で管理されています。そのため、これまで非常に煩雑であったハードウェア障害やVMware環境のアップデートをユーザーが対応する必要はありません。また、オンプレミス環境では5年程度でハードウェアのリプレースが発生し、新しいハードウェアの選定、手配、環境構築を行う必要がありました。一方、「DX仮想クラウド基盤」ではハードウェアのリプレースも気にする必要がなく最新のテクノロジーを使い続けることが可能です。



### Point 4 自社のネットワークとVPNで接続

「DX仮想クラウド基盤」上のテナントとユーザーのネットワークはインターネットVPNで接続します。当社指定のVPN装置を導入頂くことで、インターネットVPNの構築サービスを提供します。



## 月額費用で提供するリソース

「DX仮想クラウド基盤」は仮想マシンの稼働に必要なリソースを月額にて提供します。

- 500GBを超えるインターネットへの通信は従量課金となります。
- 2個目以降のグローバルIPアドレスは従量課金で提供いたします。
- リソースを増やす場合はリソースユニットを複数契約をしていただく必要があります。
- 月額費用の他に別途初期費が必要になります。

### リソースユニット

